

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和4年度) 2022年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	7	1	金	13:00	15:30	藤金市民の森	12
活動名称	藤小学校の藤金市民の森における自然体験活動					報告者：小澤ク	

<活動目的>

学校における自然体験活動について、文部省の学習指導要領では、「自然の中での集団活動などのいつもと異なる環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること」という目的で実施されている学校の自然体験活動に関し、藤小学校の自然体験活動の位置づけは、「地域のひみつ」を知ると言うテーマで、①地域のひみつを知る、②学校のひみつを知るという二つの、テーマの一つです。

地域を知るという活動の中で、藤金市民の森で市民の森の成り立ちや活動の内容、藤金市民の森の自然の紹介を行い、里山の環境が大切な事を子供達に学んでほしいことで、自然体験プログラムを提供しました。

<主な活動内容>

猛暑の中で、子供達の熱中症が心配されましたが、高齢者が多い会員の方が大変でした。

森の体験会は市民の森の成り立ちや森の管理を市民ボランティアがお手伝いしている仕組みについて。活動として、森に入れるようにするまでの苦勞、森の清掃活動、沢山の生き物、大谷川の魚やホタルの取組、竹の活用、樹木の特色などを紹介しました。会員達の熱意にあふれた説明は、子ども達に何処まで伝わったか心配です。後3回の中で、少しでも伝えていきたいものです。

<課題・評価>

- 説明ポイントの位置が近いところと遠いところがあり、移動時間が異なり、時間調整が出来なかった。出来るだけ、見える範囲に説明ポイントを置く必要がある。
- 説明の内容は、会員の熱意は理解出来るが専門的で、数字などでいっても、伝わらない事が多く、小学校3年生に理解出来る説明にする必要がある。
- 小学3年生の理解出来る用語など、学習レベルの確認が必要

<里山参加会員>

脇谷、吉井、小嶋、佐野英、小沢邦、牛島、石川、柳川、小沼、橋本、松井、(島崎)

<活動写真>



清掃活動と実態



大谷川流域の説明



ホタル飼育と回帰



竹林の生態と活用法



森の自然と植生



整備機械の紹介と安全

